

「通院」といつわって本会議をさぼり「韓国旅行」？

秋山實市議（自民クラブ）は事実を明らかにすべきです



一月七日の読売新聞で、秋山實市議が十二月二十二日、「通院のため」といつわって、本会議を欠席し、「韓国旅行」をしていた事が報道されました。日本共産党市議団は、一月八日ただちに市議会議長に対し、真相究明を求める申し入れを行いました。その後の経過と、日本共産党の見解をお知らせします。

真相を明らかにしない

秋山市議の態度は許せません

一月十四日と十九日に、各派代表者会議が開かれ、十三日に秋山市議から議長あてに「顛末書」^{てんまつしょ}が出された事が報告されました。「顛末書」では「：：本会議の二十二日最終日に際し、私儀、欠席を致しました。いかなる事由があるうとも、この度の不祥事に対し、：：とのべ、問題になっている「通院」といつわって、市議会を欠席し、私的な「韓国旅行」に行っていた事を



「いかなる事由があるうとも」という言葉にすりかえて、事実を明らかにしていません。これでは、市民に対してもいったい何が問題なのかわかりません。また、その事実を認め、反省した事にはなりません。この問題は、事実を明らかにしないままに決着させる事は許されぬことです。それだけに秋山市議自らが、事実をはつきりさせる最小限の責任があります。所属会派の自民クラブにも同様の責任があります。

真相究明と厳正な処置を求めます

日本共産党市議団

秋山實市議は、議会に対して、大すじでその事を認めつつも、具体的な中身については、いまだ明らかにしていません。新聞報道が事実ならば、議会より私的な「韓国旅行」を優先させ、しかも「病院への通院」と、その理由をいつわるなどの行為は、社会的常識からも議員である事が許されない問題です。日本共産党は、徹底した真相究明と、それにもとづく厳正な処置を求め、全力を尽くします。皆さんの御意見をおよせください